

電流についてまとめよう

平成10年11月26日(木)
奥田中学校第2学年4組

1. 電流の流れ

- 電流が流れる道筋を()という。また、電流の流れる向きは、電源の()極から出て、()極に入る向きである。
- 回路に電流を流そうとするはたらきを()という。
- 電流計は回路の測定したい部分に()列につなぎ、電圧計は測ろうとする部分に()列につなぐ。電流計、電圧計の+端子は電池の()極側につなぐ。
- 電流の流れにくさを()という。
- 回路に流れる電流は、電圧に比例する関係を()の法則といい、電圧を V 、電流を I 、抵抗を R として式にあらわすと、 $V=()$ となる。
- 圧力を低くした放電管内を電流が流れる現象を()という。
- 蛍光板を入れた放電管で、真空放電したときに見られる明るい線から()があることが分かる。この線は放電管の()極から出ていて、()という小さな粒子の流れである。
- 原子から離れて動き回ることの出来る電子を()といい、金属中にたくさんあるが、()にはない。

<メモ>

年 組 名 前
